

もばら 議会議会だより

第153号

令和4年8月15日

発行 茂原市議会報編集委員会

〒297-8511 茂原市道表1番地

電話 0475-20-1585

FAX 0475-20-1611

<https://www.city.mobara.chiba.jp/>

**6月定例会にて
一般会計補正予算など
5議案並びに
発議案1件を可決**

主な内容

P2～P6..... 一般質問

P6～P7..... 議案の概要

P7..... 採決結果一覧

P8..... 議会の流れ

6月定例会

令和4年6月定例会は、6月1日から6月16日までの会期16日間で開かれました。

この定例会では、市長から令和4年度茂原市一般会計補正予算案など計5件の議案等が提出され、慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決、承認されました。

また、請願が2件提出され、いずれも採択となりました。

さらに、国への意見書提出についての、議員発議による提案があり、原案のとおり可決されました。

一般質問

6月定例会における一般質問は、6月8日、9日の2日間にわたり7名の議員により行われました。

平 ゆき子 議員 (無会派)

平和の問題について

問 ロシアのウクライナ侵略で多くの命が犠牲となり、広範の人々が平和を希求している。軍事対軍事、核共有は軍拡と核戦争の危険につながる。核を止める保障は全世界から核を廃絶することであり、唯一の被爆国である日本政府の核兵器禁止条約への批准が必要であると考えるが市の見解を伺う。

答 本市は、平成2年に平和都市宣言をし、世界の人々と共にかげがえのない地球の恒久平和の達成に向けて、市民一人一人がたゆまぬ努力をすることを決意している。また、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起することなどを目的とした、平和首長会議に本市も加盟し、毎年、この組織において核兵器禁止条約の締約国となることを求める要請書を、内閣総理大臣へ提出している。今後

も、核兵器の廃絶を訴え、平和の大切さを発信していきたいと考えている。

準用河川鹿島川浚渫について

問 八幡原地区を流れる鹿島川中流域の湾曲箇所は、土砂堆積で大雨時に越流し、地域では床上浸水が発生した。最近地元からの浚渫の要請が出ているが予定はどうか。また、堆積した土砂に草が繁茂し流れを阻害しているため、早急な撤去が必要と考えるが見解を伺う。

答 毎年、河川堤防の草刈りを実施すると共に、河道内の巡視を行っており、今後も巡視を行いながら、河道内の堆積状況に応じて浚渫を検討していく。また、堆積土砂に繁茂した草については、現在業者委託している堤防内の草刈りと併せて実施していく。



学校給食無償化について

問 物価高騰が暮らしに深刻な打撃を与える中、学校給食無償化を求める声が高まっている。知事も県内21市町が無償化を実施しているとし「市町村や保護者の負担軽減のため無償化の検討を進める」と発言している。この状況下で無償化について市の見解を伺う。

答 学校給食費の無償化については、本市の規模において、年間3億2千万円余の財源を必要とするため、現在のところ困難だと考えている。今後、県より無償とする対象者や財源等が示された後に、検討していきたいと考えている。

その他の質問事項

- ・消費税インボイス制度について
- ・学校給食での地産地消について

横堀 喜一郎 議員 (薫風もばら)

水害対策について

問 平成25年、令和元年と2度の水害で被災した。豊田川に対しては、今年度から緊急対策事業で改修工事が行われると聞いているが、その内容を伺う。

答 二級河川一宮川の支川である豊田川の対策については、令和4年度から令和9年度を事業期間として採択された「浸水対策重点地域緊急事業」を活用し、一宮川合流点から昌平橋付近までの堤防嵩上げと国府関地先付近の築堤及び河道掘削等を行う予定であると県から伺っている。



茂原秋まつりについて

問 毎年9月第3日曜日に
行われる秋まつり（茂
原八幡・高師八幡等）で
は、神輿の担ぎ手である

「芸夫」不足が永年の課題
である。芸夫不足解消、ま
た郷土愛醸成のためにも中
学生のまつり参加（大人神
輿）を促すべきと考えるが、
見解を伺う。

答 中学生が地域の行事に
参加することは、郷土
愛を育むためにも大切であ
ると考えている。秋まつり
等についても、地域から依
頼があつたら各学校で協力
していく。

茂原の魅力発信について

問 先日ニュースで、5月
までの半年でガス料金は約15%高騰したが、茂原
市は地産ガスのおかげで値
上げがないと報道された。
地元の天然ガスを活用した
地域活性化につ

いて、茂原市は
どのように取り
組んでいるのか
伺う。



答 地産地消のエネルギー
である天然ガスは、本
市の発展を支えてきただけ
でなく、現在では、世界の
エネルギー事情に左右され
ず、安定した供給と価格に
より注目が集まっている。

これからもその魅力を活か
すことで、地域産業の活性
化を図りたいと考えている。

昨年度は、観光庁の実証
事業の採択を受け、ガス井
戸の見学や市民生活との関
わりを体験するモニターツ
アー等、天然ガスが体験型
コンテンツとして、観光資
源となるかどうかについて
実証した。

本年度についても、観光
庁の創出事業の採択を受け
たことで、昨年度の内容を
ブラッシュアップし、観光
コンテンツとして磨き上げ
を行う。また本市の観光を
けん引する茂原市観光協会
と連携することで、更なる
内容の充実と魅力を創出し
ていく。

その他の質問事項

（横堀 喜一郎 議員）

- ・ 鹿島川堤防高上げについて
- ・ 市民のDX能力向上について

河野 健市 議員

（緑風会）

コロナワクチンについて

問 最新の厚生労働省に報
告のあった、ワクチン
接種後の死亡者数と重篤な
副反応数は何件か伺う。

答 令和4年5月13日に開
催された厚生科学審議
会予防接種・ワクチン分科
会副反応検討部会、薬事・
食品衛生審議会薬事分科会
医薬品等安全対策部会安全
対策調査会の副反応疑い報
告において死亡として報告
された事例によると、接種
開始から対象期間の令和4
年4月17日までに、ファイ
ザー社ワクチンは1
549件、ファイザー社
（5-11歳用）ワクチンは
1件、武田／モデルナ社ワ
クチンは140件、アスト
ラゼネカ社ワクチンは1件
となっている。

同報告による重篤な副反
応数は、接種開始から対象
期間の令和4年4月17日ま
でにおいて、ファイザー社
ワクチンは6197件、フ

ペット、特に猫の適正な
管理について

問 長生保健所等に保護、
収容された猫の新しい
飼い主探しに取り組んでい
るNPO法人などの団体は
具体的には、どのような団
体があるのか伺う。

答 千葉県動物愛護センタ
ーから引き渡しを受けて
猫の譲渡を行っている団
体は、同センターに確認し
たところ、NPO法人や任
意団体計10団体であり、全
ての団体の譲渡の実績があ
ると聞いている。具体的
には、NPO法人犬と猫のた
めのライフポート、ちばわ
ん、ゆめネコ譲渡会などが
ある。



水道料金について

問 水道料金の用途別指定
で、官公署用として認
められている施設は官公署
以外にあるか伺う。

答 個別の具体的な用途に
ついては、長生郡市広
域市町村圏組合水道事業給
水条例の運用によるところ
であり、本市としては把握
していないが、その他営利
を目的としない団体が主に
使用しているもので、官公
署用の用途に認定している
ものはあると伺っている。

その他の質問事項

（河野 健市 議員）

- ・ 猫の去勢避妊に対する補助につ
いて



河野 英美 議員

(志友会)

動物の多頭飼育について

問 国のガイドラインにも示されているが、多頭飼育問題には社会的孤立や生活困窮等が背景にある。不妊去勢手術を行えば大幅に増えることや地域の問題も減ると考える。手術の助成を行っている近隣自治体もあるが、本市で行う考えはあるのか伺う。

答 望まない繁殖を防ぐための不妊去勢は、飼主の責務であると考えているため、費用の助成については考えていない。



小中一貫校について

問 地域や保護者との意見交換会等で、「本納地区の特色ある教育」や「一貫校のメリット」を見出せないとの意見がある。令和5年度から茂原市全体で推進する小中一貫教育の取り組みに先行して行われている乗り入れ授業の効果と課題について伺う。

答 乗り入れ授業の効果としては、大きく2つある。

1つめは、中学校の専門性を生かした教科指導による児童の学力の向上である。例えば、音楽科の授業では、児童の歌声が明らかに変わったという成果があった。

2つめは、中学校へ進学したときの、生徒の安心感である。乗り入れ授業により生徒・教員の双方が互いを知っているため安心して4月をスタートできたという声が聞かれた。

課題としては、乗り入れ授業を行うための打合せ時間が十分取れないことや、互いの学校の時間割の調整が難しいことがある。

防犯対策について

問 市の安全・安心メールにもたびたび不審者情報が入るが、地域の方や児童・生徒の保護者からも「地域の防犯状況が心配」との声がある。防犯カメラの設置は犯罪の抑制にも効果があると考えるが、市民要望での設置は可能か伺う。

答 防犯カメラは、市民からの要望ではなく、犯罪の抑止、予防、再発防止のため、必要とされる箇所について、茂原警察署生活安全課、刑事課、交通課、青少年指導センター等と協議し、設置している。

その他の質問事項

(河野 英美 議員)

- ・市の情報発信の取り組みについて
- ・通学路の安全確保について
- ・学校統合準備委員会について



石毛 隆夫 議員

(公明党)

飼い主のいない猫に対する取り組みについて

問 不妊去勢手術を行う助成事業の財源として、「ガバメントクラウドファンディング」を活用し、飼い主のいない猫の減少への取り組みを行ってもらいたいと考えるが、市の見解を伺う。

答 ガバメントクラウドファンディングは、まちづくりや地域課題など特定の用途に対する財源を確保する上で、有効な手段と認識している。

引き続き、地域猫活動の要望の把握に努めるとともに、先進自治体の取り組みについて調査し、本制度について検討していく。



認知症対策について

問 「認知症の人と家族の会」について、広く周知を図り、多くの方に参加してもらおうとともに、認知症の方と家族の交流のため、各地域包括支援センター区域内での開催や認知症地域支援推進員と共同による開催などが有効であると考え、市の見解を伺う。

答 認知症で不安を抱える方と、介護経験のある方との交流の促進は必要と考え、より多くの方に参加してもらえよう、各地域包括支援センターにおいても、周知していく。

また、各圏域で、認知症地域支援推進員が参加し共同で開催することは、有効な取り組みとなると考える。今後の各圏域での開催や、運営方法については、「認知症の人と家族の会」の運営者と、認知症地域支援推進員で話し合い、より支援につながる開催、運営ができるよう努めていく。

交通手段確保への取り組みについて

問 交通空白地域を解消し、高齢者などの交通弱者が移動手段を確保するためには、将来的に市内全域をデマンド交通で運行することがもつとも有効であると考えるが、見解を伺う。

答 自宅から目的地まで直接送迎するデマンド交通は有効であると考えているが、事業費の増大や既存の交通事業者との競合が懸念されることから、関係者と慎重に協議や意見交換を重ねていきたいと考えている。

その他の質問事項

（石毛 隆夫 議員）
・プラスチックごみの削減について



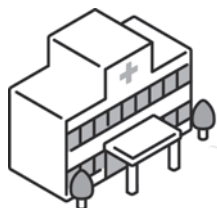
山田 広宣 議員

（公明党）

高校3年生までの医療費助成拡大について

問 県内でも半数の市町村が高校3年生まで対象を拡大している。同じやるなら今が決断の時。絶好のチャンスであり、最後のチャンス。今こそ高校3年生まで医療費助成対象拡大を宣言すべきだが、市の見解を伺う。

答 高校3年生までの医療費助成拡大については、一層の子育て支援に繋がるものと考えている。近隣自治体の実施状況や今後の動向を十分に踏まえ、他の子育て支援施策との優先順位を考慮したうえで検討していく。



農業への支援について

問 ロシアのウクライナ侵略による原油価格や物価高騰は、市民や事業者に影響を及ぼしている。農業従事者に対しても燃料の価格高騰や肥料価格高騰に対する支援をすべきであるが、地方創生臨時交付金の活用について伺う。

答 昨今のあらゆる価格高騰に伴って、肥料や資材なども値上がりが生じていることから、農業者に対して効果的かつ必要な支援を検討している。

インターネットを活用した農産物の販路拡大について

問 例えば福岡市などで市内農産物の販路拡大のため、インターネットを活用した産地直送型EC（エレクトリックコマース＝電子商取引）が急増している。本市でも積極的に推進すべきだが、この評価と今後の取り組みを伺う。

答 インターネットにより幅広く情報が発信され、

小久保 ともこ 議員

（公明党）

地方創生臨時交付金における原油価格・物価高騰対応分の活用について

本市の特産野菜を四季折々でタイムリーに販売することができ、消費者にとっても、気軽に農産物を購入できる手段であると考えている。本市でも過去において、導入に向けて協議していたが、資金面や専門スタッフの不足などの課題があることにより、導入には至らなかった経緯がある。

しかしながら、EC化により、新たな販路拡大が期待できることから、改めて協議していききたいと考えている。

その他の質問事項

（山田 広宣 議員）
・スマート農業について
・3歳児の視力検査について



問 長引くコロナ禍に加えて、ウクライナ情勢が拍車をかけ、原油価格や物価高騰の影響により様々な分野において大きな負担を強いられている。そこで、本交付金を効果的に活用するために今後どのような支援が必要と考えるのか伺う。

答 本交付金を活用した今後の支援策の方向性としては、市民の生活に直結した支援事業、また、市内事業者を守りながら経済の活性化に向けた事業について、迅速かつ有効に実施していく必要があると考えている。



問 コロナ禍や物価高騰などの影響を受けた市民への経済的支援及び消費喚起による地域経済の活性化を図るため、本交付金を活用し、プレミアム付商品券の発行を検討すべきと考えが見解を伺う。

答 プレミアム付商品券は地域経済の活性化に効果的な施策の一つであると考えている。今後もプレミアム付商品券を含め、本市の実情に応じた効果的な支援を検討していく。



コロナ禍における食育の推進について

問 コロナという環境変化により、栄養の偏りや不規則な食事等、食生活に関して多くの問題点が指摘されており、食育を積極的に取り組んでいくことが重

要である。そこで、本市の食育推進運動は何に重点を置き取り組まれているのか伺う。

答 コロナ禍において、対面での相談や指導が難しくなったことから、望ましい食生活についての動画配信、オンライン会議システムを活用した栄養相談及びセミナーを開始し、デジタル化への対応に重点をおいて取り組んでいる。個々に異なる食の悩みや心配事を傾聴し、それぞれに合った指導と相談ができるよう努めている。

その他の質問事項

- （小久保 ともこ 議員）
- ・ 地方創生臨時交付金活用事業について
- ・ 学校における食育の推進について



議案の概要

予算関係

◎ 議案第1号「令和4年度 茂原市一般会計補正予算（第1号）」

〔内容〕 歳入歳出予算の総額に7億3721万7千円を追加し、その総額を316億7021万7千円とするものです。内容は、子育て世帯や住民税非課税世帯等への特別給付金給付事業の民生費や、新型コロナウイルススワクチン接種事業の衛生費等を増額補正するものです。

条例関係

◎ 議案第2号「茂原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

〔内容〕 公職選挙法施行令の一部を改正する政令が施行され、選挙運動用自動車の借り入れ費や燃料費、ビラの印刷費、ポスターの印刷費等の公費負担の限度額

がそれぞれ引き上げられたことに伴い、所要の改正をするものです。

◎ 議案第3号「茂原市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について」

〔内容〕 配偶者からの暴力被害者の市営住宅への入居について、国土交通省通知に基づき、被害者の増加や深刻化が懸念されている事情を勘案し、所要の改正をするものです。

その他

◎ 報告第1号「専決処分の承認を求めることについて」（茂原市税条例等の一部を改正する条例の制定について）

〔内容〕 地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税では、住宅借入金等特別税額控除の適用延長を、固定資産税・都市計画税では、商業地等の負担調整措置の改正をしたものです。

◎ 報告第2号「専決処分の承認を求めることについて」（茂原市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定につ

いて）

〔内容〕 地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険の被保険者間において、税負担の公平性の確保を図るため、国民健康保険の基礎課税額と後期高齢者支援金等課税額の限度額をそれぞれ引き上げたものです。

発議案

◎ 発議案第1号「教育予算の充実及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について」

〔内容〕 教育が日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っていることから、現行の義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、子どもたちの教育環境の整備を一層進めるため、令和5年度に向けて、教育予算の一層の充実を国に要望すべく意見書を提出しようとするものです。



請 願

◎請願第1号「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

【内容】子どもたちによりよい教育を保障するため、義務教育の機会均等と水準の維持を図るべく、国の教育予算拡充に向けた意見書を政府及び関係行政機関へ提出することを要望するものです。

◎請願第2号「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

【内容】義務教育費国庫負担制度が廃止、縮減されると地域によって義務教育に格差が生じてしまうことから、本制度の堅持に向けた意見書を政府及び関係行政機関へ提出することを要望するものです。



令和4年6月定例会 議員別表決結果一覧

議 案 名 等			議 員 名 等		審議結果	御園敏之	工藤孝弘	河野英美	横堀喜一郎	河野健市	高山佳久	西ヶ谷正士	石毛隆夫	岡沢与志隆	向後研二	杉浦康一	小久保ともこ	田畑毅	山田広宣	金坂道人	中山和夫	細谷菜穂子	鈴木敏文	平ゆき子	ますだよしお	三橋弘明	常泉健一	
報 告	第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認	賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○
議 案	第1号	令和4年度茂原市一般会計補正予算（第1号）	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第2号	茂原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第3号	茂原市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
発議案	第1号	教育予算の充実及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請 願	第1号	「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対
※議長は表決に参加しないため、空欄になっています。

議会の流れ

年4回行われる、定例会の一般的な流れについて紹介します。

開 会

議長が開会を宣告します。会議録署名議員の指名や会期の決定を行います。

議案の上程説明

議長が議案（条例や予算など）を議題とし、市長や担当部長が内容を説明します。

請願・陳情の上程 後委員会付託

閉会中に受理した請願・陳情を議長が議題とし、所管の常任委員会などに審査を付託します。

2日目、3日目

休 会

議案などの調査

開会日に上程された議案などを、議員が個々に調査する期間です。

一般質問

議員が行政全般にわたる事務の執行状況や方針などについて、市の執行部に問い質し、報告、説明を受けるものです。2日間にわたり10名が質問できる枠を設けています。（11人以上の場合は4日目にも行います。）



本会議場

休 会

4日目

議案質疑

議員が議案の内容や提案の理由などについて、市の執行部に疑問点や不明な点の疑義を質します。

委員会付託

議案質疑が終わると議長が所管の常任委員会などに議案の審査を付託します。

委員会審査

議案などをより深く審査するため、休会中に各常任委員会を開催します。委員会では、議案などについての詳細な質疑応答がなされ、可否を決定します。開会日に付託された請願・陳情も審査します。

報告書作成

各委員長が、委員会での審査経過や結果についての報告書を作成します。

閉 会 日

委員長報告

委員会での審査経過と結果を委員長が本会議で報告します。

討 論

採決の前に議案など議題となっている案件について、自己の意見を表明します。

採 決

議会として議案などの賛否を決定します。通常の起立採決と委員会などで異議がない場合の簡易採決があります。

閉 会

議長が開会を宣告します。



茂原市マスコットキャラクター
モバリん

次回の定例会は
9月7日（水）から
開催されます

月日	会議内容（予定）
9月	・会議録署名議員の指名 ・会期の決定
7日（水）	・議案の上程説明 ・請願・陳情の上程後 委員会付託
14日（水）	・一般質問
15日（木）	・一般質問
16日（金）	・議案質疑後委員会付託 ・議案等の総括審議
22日（木）	

※定例会終了後、令和3年度一般会計決算を審査する決算審査特別委員会を10月初旬に開催予定です。

**本議会を傍聴する
方へのお願い**

本会議は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができ、新新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴はできる限り控えていただき、インターネット中継にてご視聴くださるようお願いいたします。

茂原市議会

